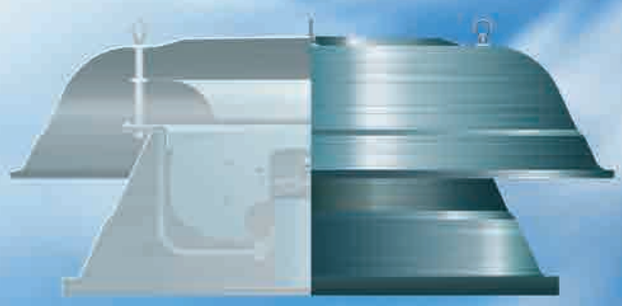
ROOF TOPFAN

取扱説明書

強制屋上換気扇

ウルトラエース®

型式 UAF型 UFR型



取扱事故防止のため、説明書をよくお読みの上、正しくお使いください

〈この取扱説明書は、いつでも取り出せるよう大切に保管してください〉

目次

安全上の注意 (警告)… 1～2
ご使用にあたって…… 3～7
保守…… 8
故障かなと思ったら…9～10
お問い合せ先……10

この度は、屋上換気扇『ウルトラエース』をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。
ウルトラエースは一般工場や倉庫、その他多くのニーズに対応してきた実績のある屋上換気扇です。
屋上換気扇を安全にご使用頂くためにこの取扱説明書をご熟読のうえ、いつでも確認が出来るように大切に保管してください。
※説明書に記載されていない方法で使用された場合は故障の原因になる可能性が有ります。

快適空間の創造
三洋工業

屋上換気扇を安全にご使用いただくために

本体据付け、運転、保守点検の前に、
必ずこの取扱説明書を熟読してください。
この取扱説明書には、屋上換気扇に関する
重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

安全上の注意

⚠警告

この表示は「人が死亡や重傷を負うおそれのある内容」です。

据付け時の注意

●屋上換気扇は危険防止の為、手が触れる恐れのない、建屋屋上に水平に設置してください。（特殊な設置を計画している場合、必ず当社にご相談ください。）

●据付け、電気工事は専門業者に依頼してください。本体を設置する架台は、必ず建屋鉄骨に取付け、本体と架台は所定のボルトで確実に締付けてください。（締付けが不備の場合振動の原因になります。）

●電圧、周波数は、必ず銘板に記載してある表示にて使用してください。（銘板値以外の電圧、周波数では、モータ焼損、火災の原因となります。）

●アース（第３種設置）を必ず設けてください。さらに、電源回路に漏電遮断器を使用してください。（アース、漏電遮断器が無い場合は、感電、火災の原因になります。）

●屋上換気扇の電源回路には、１台ごとに定格に合った焼損防止の保護装置（モータブレーカーとサーマルリレー付電子開閉器との併用）を必ず使用してください。異常時のモータ焼損や火災発生を防止出来ません。

使用環境についての注意

◎酸・アルカリなど腐食性の液体や気体、油分(油煙等)やガスのある場所、及び水素、メタン、ガソリン等の爆発性ガスのある場所では腐食関連には防食型、爆発性ガス関連には防爆型を使用してください。
※防食型は全ての腐食を及ぼす環境における品質を保証するものではありません。防食型１種でも耐えられない場合もあります。
範囲、湿度範囲でご使用ください。
※ウルトラエースは空気の入れ替え（換気装置）であり油煙や腐食性物質、酸やアルカリ等を排出する設備ではありません。発生源の近くで別の設備で除去するようにしてください。

◎電動機(モータ)、ブレード羽根に浮遊する粉塵、繊維等が付着・固着すると、不具合が起きる可能性があります。製品に付着する前に建屋内で除去等の対策を行うか、除塵フィルター等のオプション品を使用してください。

◎高温や直接炎が当たる場所には据付けしないでください。

◎湿度の高い所には据付けしないでください。(防食型又は防湿型を使用してください。)

◎それぞれの機種による適切な温度範囲、湿度範囲でご使用ください。

●当社屋上換気扇は雨滴浸入に十分配慮をして設計しておりますが、気象条件によっては、多少浸入する可能性があります。

●換気は排気と給気のバランスが大事になります。排気用換気扇を設置する場合、給気口等を必ず設けてください。

運転時の注意

●回転方向と通風方向が正常か確認してください。

●異常な振動や騒音がないか確認してください。

●保守点検を行ってください。(点検を行なわないと製品寿命が短くなる恐れがあります。)

定期点検、修理時の注意

※機器の定期点検、修理作業は専門業者に依頼してください。

●年に１回程度、電圧及び電流値の測定を実施し正常であるか点検してください。

●点検、修理を行う場合は、**必ず電源を切ってから作業してください。**(作業中電源が入ると、怪我、感電の原因になります。)

●電動機（モータ)、および羽根に粉塵が多量に付着すると破損する恐れがあります。除去のメンテナンスを実施し、つもらないようご注意ください。

●防虫網、フィルターなどを設置する場合は目詰まりに注意し、現場状況に合わせ、定期的に点検、クリーニング・交換などを行ってください。

●機器の改造は絶対に行わないでください。

●モータの水洗いは絶対にしないでください。(電気絶縁が劣化し、漏電、感電の原因になります。)

保証について

※詳しくは当社営業所までお問合せください。

●正常な使用状態で故障した場合には、お買上げ日より１年間無償修理いたします。但し次の場合は有償修理となります。
※化学薬品や油煙等が原因である故障及び錆の時。
※火災、地震、風水害等の自然災害による故障及び損傷。
※不慮の事故、使用上の誤り及び不当な改造による故障及び損傷。

その他の付帯事項は保証書(別紙)にてご確認ください。

⚠警告 温度過昇防止装置について

モータに温度過昇防止装置(サーマルプロテクター)が内蔵されている機種で、過負荷、欠相運転等によりモータが停止した場合、電源を切断しないとモータの温度低下とともにサーマルプロテクターが自動的に復帰し、突然回転して大変危険です。**点検時は必ず電源を切断してから行ってください。**
【サーマルプロテクター内蔵機種については、カタログを参照してください。】

ご使用にあたって

1 保管上の注意事項

外観を著しく損なうものとして、換気扇頭部および台部に採用のアルミ成型部品が白く変色する**水錆（ウォーターステイン）**と呼ばれる現象が発生する場合があり、納品後は**屋内保管**が基本となります。
また以下の点に注意願います。

①換気扇（頭部、台部）を**重ねた状態**で、工事期間中でも**屋外に長期間放置しない**でください。
②製品を現場納入後、直ちに取付工事をしない場合は、屋内でも**湿度の高い場所や濡れる場所に置かない**でください。
③屋外保管が必要な場合は、換気扇（頭部、台部）を段ボール梱包状態で雨に**濡れた状態で放置しない**でください。その時は直ちに製品を段ボール箱から出して、**湿度や水溜まり防止の対策**を図ってください。

2 取付け前の点検について

屋上換気扇がお手元に届きましたら、ただちに下記の点をお調べください。

①ウルトラエースの仕様（機種、電圧等）が注文通りのものか。
②輸送中に損傷を受けていないか、又、付属品の数量等に問題はないか。
③モータの羽根を手で回してみて引っ掛かるところがなく滑らかに回るかどうか。
万一不都合のところがありましたら、注文先にご照会ください。

3 運搬作業上の注意について

取付け及び運搬作業の際は、特にモータの羽根に変形を与えない様に、最新の注意を払ってください。
羽根が変形しますと異常振動等によりモータ故障の原因になります。

※変形した際は使用せず、最寄りの営業所にご連絡ください。

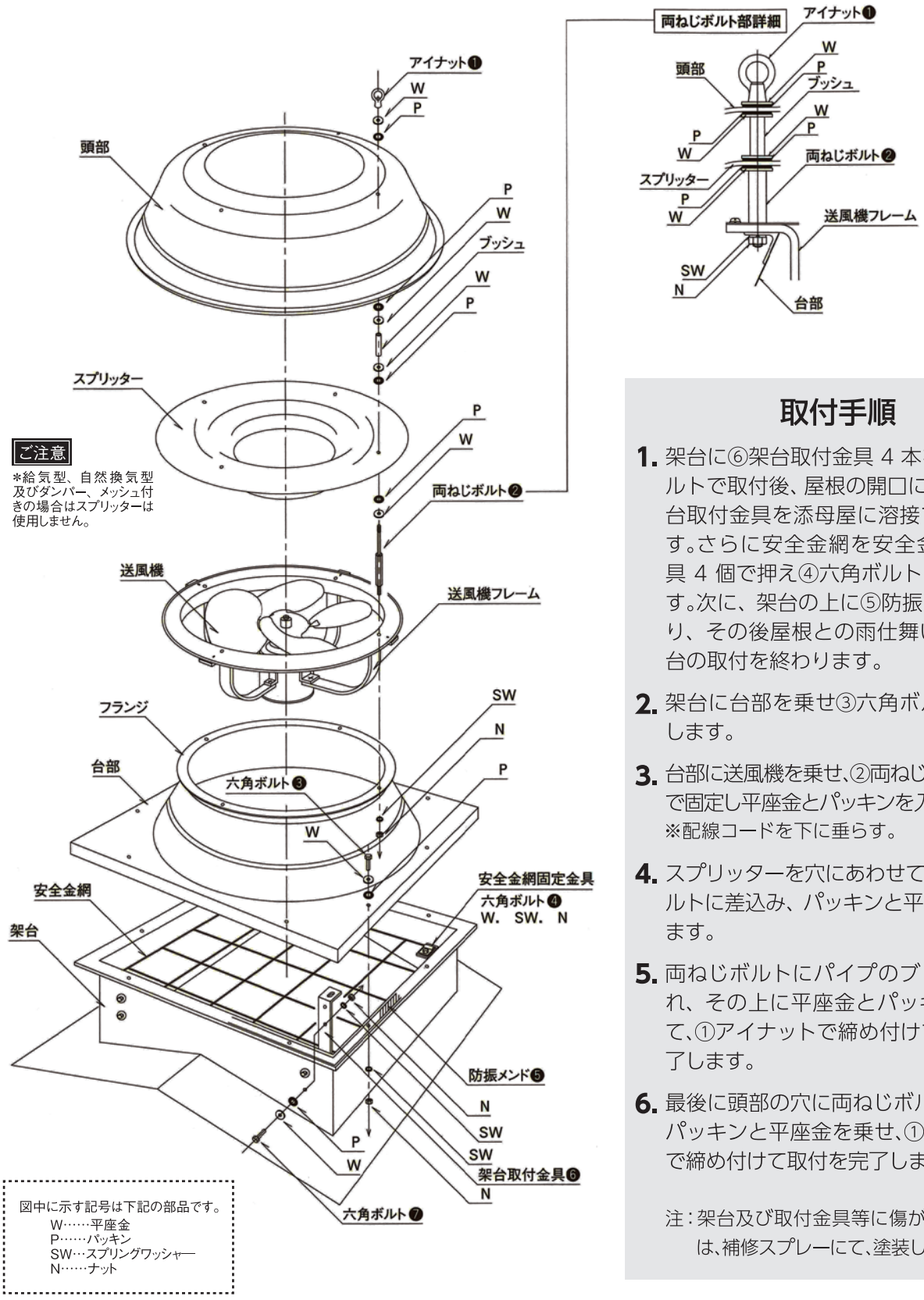
4 取付について

①振動のない強固な場所に、しっかり取付けてください。取付けが弱いと共振を越こし、異常音発生、羽根の破損などの事故が起きる危険があります。弱い場所は必ず十分補強して確実に取付けてください。
②標準型モータ及び他機種のモータには、下部にドレン抜きがついています。機種により、ドレンキャップとドレンネジの区別がありますが、取付けの際は**はずして設置してください。**（モータは全閉型であり、湿度90%まで使用出来ますが、呼吸作用により、モータ内部に水滴が溜まることがあります。モータ内部に水滴が溜まりますと、漏電、焼損、ベアリングの不良等の原因となるので、ドレンネジ等を外してください。但し、**粉塵等の多い場所等では、付けたままにしてメンテナンス時〈1ヵ月に1回を目安〉に外し水を抜いてください。）**
③標準型モータの周囲温度は約-20℃～+60℃までです。周囲温度に注意してください。

※その他機種の周囲温度・湿度条件はカタログをご参照ください。

ウルトラエース各部名称

※ＵＡＦ型・ＵＦＲ型の各部名称です。
※架台にはウルトラエース専用架台と現場にて製作するアングル架台が有りますが、
　ここでは専用架台を例にして各部名称を説明致します。
※据付前に本説明書の警告を必ず熟読ください。



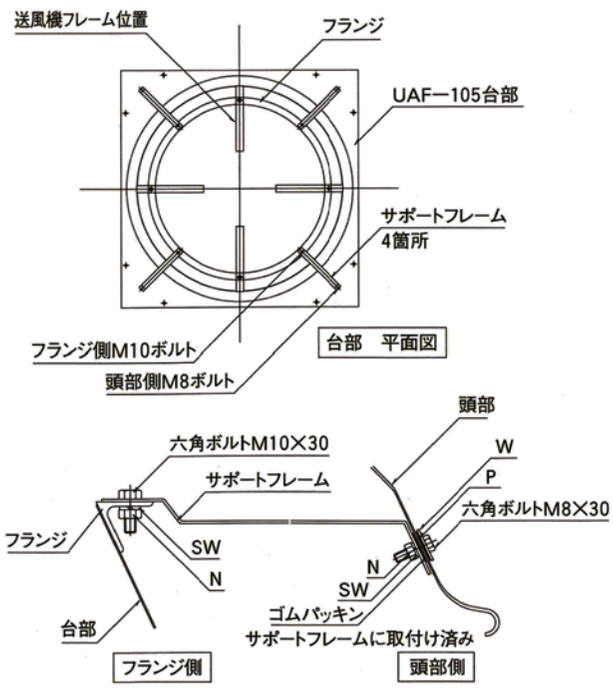
ご注意
*給気型、自然換気型及びダンパー、メッシュ付きの場合はスプリッターは使用しません。

取付手順

1. 架台に⑥架台取付金具４本を⑦六角ボルトで取付後、屋根の開口に合わせ、架台取付金具を添母屋に溶接で固定します。さらに安全金網を安全金網固定金具４個で押え④六角ボルトで固定します。次に、架台の上に⑤防振メンドを貼り、その後屋根との雨仕舞いを行い架台の取付を終わります。
2. 架台に台部を乗せ③六角ボルトで固定します。
3. 台部に送風機を乗せ、②両ねじボルト４本で固定し平座金とパッキンを入れます。
   ※配線コードを下に垂らす。
4. スプリッターを穴にあわせて、両ねじボルトに差込み、パッキンと平座金で押えます。
5. 両ねじボルトにパイプのブッシュを入れ、その上に平座金とパッキンを入れて、①アイナットで締め付けて取付を完了します。
6. 最後に頭部の穴に両ねじボルトを入れ、パッキンと平座金を乗せ、①アイナットで締め付けて取付を完了します。

注：架台及び取付金具等に傷がついた場合は、補修スプレーにて、塗装してください。

UAF-105 用サポートフレームの取付方法



モータフレームとの中に設置します。

1. フランジ側４か所にM10 のボルトでサポートフレームを取付けます。
2. 105ｃｍ送風機をフランジで置き、施工手順に従って本体を組立てます。
3. 頭部側の穴４箇所にM8 のボルトでサポートフレームを固定します。

5 配線について

※配線工事は専門業者又は電気工事店にご依頼ください。

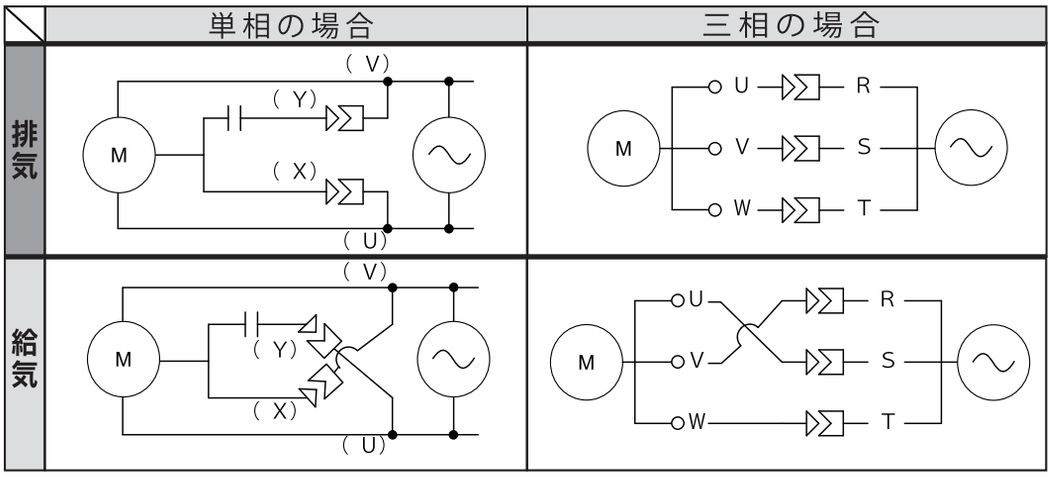
①屋上換気扇の電源仕様(単相 100Ｖ、３相 200Ｖ，その他の異電圧)を十分確認して、配線してください。
②3 相製品は単相運転をすると焼損します。単相運転にならないようにご注意ください。
③単相 100Ｖ製品に 200Ｖを接続しても焼損します。
④配線距離が長いときは電圧降下が大きくならないようにご注意ください。換気扇モータ端子電圧を定格電圧の ±5%以内の範囲にしてください。また、電源事情等による電圧の一時的な変動は、定格電圧の ±10%以内の範囲としてください。一時的な電圧変動により換気扇モータ端子電圧が定格電圧の ±5%を超え、±10%以内となった場合、その状態で 1 時間異常の連続運転をしないでください。
⑤モータ反負荷側にある設置用の端子ネジよりアース(第３種接地)を必ず設けてください。尚、アース線には２㎟以上で緑の被覆線をご使用ください。
⑥安全のためウルトラエース 1 台に 1 セットの漏電遮断器を設置してください。更に、モータ過負荷保護のため、配線系統にはモータブレーカーと過負荷保護電磁開閉器の併用をお願い致します。
⑦3 相モータの場合、結線の入替えを間違えると逆転します。正しい回転方向を確認し、逆転している場合は、結線を入れ替えてください。
⑧操作スイッチは、起動電流 × 接続台数の容量で使用してください。(起動電流の目安＝定格電流 ×650%) 但し、電磁開閉器の操作スイッチを使用する場合は、電磁開閉器の操作コイル電流以上のスイッチ容量のものを使用してください。
⑨電源の電圧不平衡率が 1%を超えた場合、各相の電流に不平衡が生じ、電流値の高い相でコイルが局部的かつ極端に過熱状態となり、絶縁劣化の進行や、焼損にいたる恐れがあります。

⚠ 警　告

温度過昇防止装置（サーマルプロテクター）が操作して屋上換気扇が停止した場合に、電源を切断しないとモータの温度低下と共にサーマルプロテクターが自動的に復帰し、急に回転して大変危険です。**点検の際は必ず電源を切断してください。**
原因を取り除いた後は、モータが冷えてから再運転してください。

配線前にご確認ください

■屋上換気扇配線図

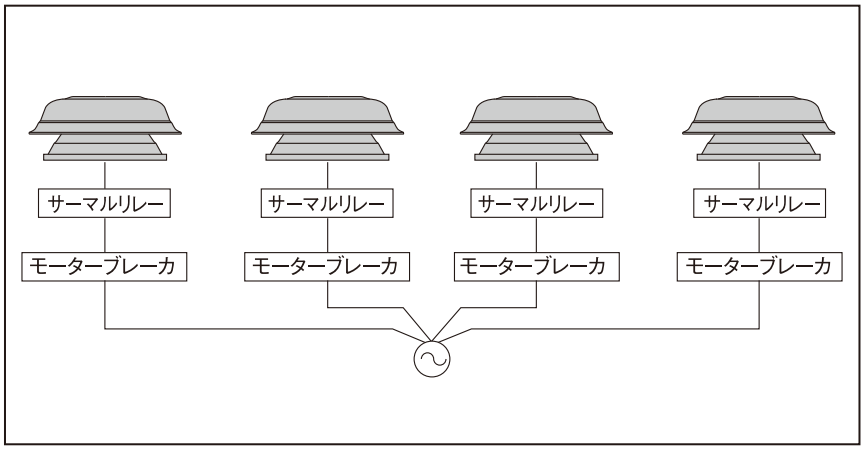


※標準配線方法は排気（ＵＶＷ線：赤白黒）、給気（ＵＶＷ線：白赤黒）となります。
※上記以外の配線方法が必要な型式は以下の通りです。
●排気：ＲＶ型、ＲＶＳ型（ＵＶＷ線：白赤黒）
●給気：ＵＦＲ-60ＳＡG3・60ＳＢG3・60ＳＣG3・60ＳＡＬ3・60ＳＢＬ3、
ＵＡＦ-60ＳW3（ＵＶＷ線：赤白黒）

モーター（羽根）の回転方向

排気（E）の回転方向	メーカー	給気（S）回転方向
上から見て **左** 回転	**日　立**	出荷時に羽根を逆向きに変更済みです。
上から見て **右** 回転	**三　菱**	出荷時に羽根を逆向きに変更済みです。
上から見て **右** 回転	**テラル**	機種により回転方向が異なります。

■換気扇モータの保護方法について



お客様にて動力盤をご用意される場合は、保護部品としてモータブレーカーとサーマルリレー付き電磁開閉器の併用をお願い致します。
特に、低騒音型や標準型以外のモータを指定された場合、同一サイズの換気扇でも定格電流値が変化するため、製品に異常が無くともブレーカーが落ちる時があります。
このような場合は、遮断電流が高めのブレーカーとサーマルリレー付き電磁開閉器とを組み合わせ、換気扇の定格電流値をご確認の上サーマルリレーの遮断電流を調整する方法が適切です。
また、激しい油煙や埃の発生する現場では、換気扇の羽根に付着した異物の影響によりモータの劣化・焼損の恐れがあるため未然に防止する為にもサーマルリレー付き電磁開閉器の併用をお願い致します。

※当社の換気扇をご使用になる場合、専用の動力盤（セントローラー、ＡＤ動力盤等）との併用をお薦め致します。

ご参考

モータブレーカーは、適切モータの容量に合わせて、遮断電流を固定しているのが一般的です。
モータの負荷電流が経時変化する使い方や、出力容量は同じでも定格電流が違うモータをご使用になる場合は、ある程度遮断電流の調整ができる、サーマルリレーを併用されることをおすすめ致します。
ただし、最近保護機器メーカーから発売されている電子式モータブレーカーの中には定格電流が調整できるものがあり、これをご使用になる場合はサーマルリレーは必要ありません。

■モータ出力と定格電流（3 相 200Ｖ）

型式	公称出力	相数	定格電流（50/60Hz）
UAF-30EG3M	0.05KW	4P	0.37/0.4(A)
UAF-40EG3M	0.20KW	4P	1.0/1.21(A)
UAF-50EG3M	0.40KW	6P	2.1/2.2(A)
UAF-60EG3M	0.75KW	6P	3.8/3.6(A)
UAF-75EG3M	1.50KW	6P	9.4/9.8(A)
UAF-90EG3	2.20KW	6P	9.8/12.0(A)
UAF-90EG3T	2.20KW	6P	8.6/9.2(A)
UAF-105EG3	2.20KW	8P	10.5/13.5(A)
UAF-105EG3T	2.20KW	8P	9.5/13.0(A)
RV-120EG3	3.70KW	10P	20.0/17.0(A)

※上記機種以外の電流値は、カタログをご参照ください。
※公称出力を基準に過負荷保護装置を選定しないでください。

6 運転について

※回転方向は P6と承認図（別紙）にてご確認ください。

①配線、接続が正しく行われているか確かめてください。
②運転前に、羽根車を手回しし、引っ掛かりがないか、羽根車が変形していないか確認してください。
③**回転方向が正常か確かめてください。**
反対の場合は、P6 の『屋上換気扇配線図』を参考に結線を入れ替えてください。
④異常な振動及び騒音がないか確かめてください。
⑤**停電の時は必ず電源を切ってください。**復旧後に電気が流れ、思わぬ事故を起こすことになります。

保守

最小限、下記項目について点検を実施してください。
これを怠りますと、当該部品の故障のみならず
他へも悪影響を及ぼす場合が有りますので、確実に実施してください。

◆点検内容と周期

点検項目	点検内容	処　置	推奨点検周期	
			月次点検(1回/月)	定期点検(1回/年)
1 運転音の点検	運転音を確認するためには、細心の注意をはらい聴いてください。羽根車の回転音以外の音(金属音やいつもと異なった音)がしていないか点検してください。	異常を発見した時は運転を停止して最寄りの営業所にご連絡ください。	○	○
2 振動の点検	取付枠が異常振動していないか点検してください。	異常を発見した時は運転を停止して最寄りの営業所にご連絡ください。	○	○
3 絶縁抵抗	長時間(1ヵ月以上)停止後に運転再開する場合や1回/年、接地と各部の抵抗を直流500V絶縁抵抗計を用いて測定し、1MΩ以上あるか確認してください。	湿気や塵埃の影響を受けると稼働年数が短くても絶縁抵抗の原因になります。機械室の防塵にもご配慮ください。	——	○
4 錆の点検	運転を停止して各部に錆が発生していないか点検してください。	錆を発見した時は専門業者に依頼して部品交換を実施してください。	○	○
5 運転電流値	運転電流値が最大許容電流値を超えていないか点検してください。また、前回と比較して増加又は減少の程度が大きくないか点検してください。	異常を発見した時は運転を停止して最寄りの営業所にご連絡ください。	——	○
6 取付ネジの点検	運転を停止して各部の取付ネジが緩んでいないか点検してください。	緩みを発見した時は専門業者に依頼して取付ネジの交換を実施してください。	○	○
7 塵埃等の付着の点検	本体や送風機、オプション部材に塵埃、油煙等が付着していないか点検してください。	付着を発見した時は運転を停止して最寄りの営業所にご連絡ください。	○ 現場毎で点検頻度は異なります。	○

◆消耗部品

部品名／玉軸受（ベアリング）

交換年数について／玉軸受の寿命は約１万時間（１日13時間　年間250日稼働した場合で約３年）です。
異常音が発生したら最寄りの営業所にご連絡願います。有償にて送風機の交換となります。

故障かな？と思ったら…

⚠警告 点検作業にあたっては、取扱説明書に記載しています「警告」を熟読し、充分な安全対策を講じた上で実施してください。

症　状	? 原因（ここを調べる）	処置方法	対　応 お客様	専門業者	問合せ
スイッチを入れても動かない	電源が供給されていますか？	電気工事店に対処を依頼してください。		☆	
	ブレーカーが落ちていませんか？	モータの定格電流値を確認し、対応した適切なアンペア数のブレーカーを選定してください。		☆	
	配線接続の不良（断線・弛みなど）はありませんか？	接続不良箇所を点検・再接続し、断線部を修理、または電源ケーブルを交換してください。		☆	
	漏電していませんか？	配線箇所を点検・再接続してください。		☆	
	スイッチの故障ではありませんか？	電気工事店に対処スイッチを修理・交換してください。		☆	
	２次配線側がショートしていませんか？	２次配線側を点検して正しく結線してください。		☆	
	上記以外	電気工事店に対処を依頼してください。	○		
運転中に停止していた	三相２００Ｖ用機種で単相運転になっていませんか？	結線を確認してください（点検後、電源を ON にしても焼損で動かない場合があります。この場合、送風機の交換が必要になります）		☆	(◆)
	サーマルプロテクター（温度過昇防止装置：一部機種に内蔵）が作動していませんか？	⚠警告 突然回りだす場合があります。 **必ず電源を OFF にして、**温度上昇などの停止した原因を取り除き、モータが冷えた後に電源を ON にして再運転してください。	○	☆	
	１つのブレーカーで複数のモーターを運転していませんか？	１台のモータ毎にサーマルリレー付電磁開閉器を併用し、モータへの過電流を防止してください。		☆	
	オプション（BD：風圧ダンパー、GMBD：ダンパーメッシュ、GM：防虫メッシュ）付屋上換気扇で、ブレーカーが落ちていませんか？又、軸受けのベアリングによる異音がしていませんか？	給気運転で、電流値が高くなっているおそれがありますので、モータの結線状態を確認してください。		☆	
		メッシュにゴミ、粉塵等が多く付着して、過負荷となっているおそれがありますので掃除をしてください。		☆	◆
		過負荷による温度上昇でグリスが劣化している恐れがあります。 送風機を交換してください。			◆
	湿度が９０％を超えていませんか？	防湿型（湿度 RH 99% 以下）に変えるか、湿度を下げてください。	○		
	換気扇に抵抗が大きなダクトを直結していませんか？	過負荷となるような、抵抗が大きくなるダクトと直結しないでください。	○	☆	

症　状	? 原因（ここを調べる）	処置方法	対　応 お客様	専門業者	問合せ
異音がする 振動が大きい	羽根車に粉塵などが多く付着して、軸受けのベアリングによる異音がしていませんか？	羽根車に付いた粉塵によりモータがアンバランス運転状態です。 羽根車の清掃または、送風機を交換してください。		☆	◆
	羽根車に亀裂が入っていませんか？	粉塵付着によるアンバランス運転などにより羽根車に亀裂が入ることがあります。送風機を交換してください。			◆
	モータの周囲温度が高く、軸受けのベアリングによる異音がしていませんか？	高温で軸受けのグリスが劣化しているおそれがあります。 耐熱型（90℃以下）に変えるか、又は、送風機を交換し温度を下げてください。			◆
	風圧ダンパー、メッシュダンパー（オプション）の羽根が開かないでバタついていませんか？	給気運転しているおそれがありますので、モータの結線状態を確認してください。		☆	
		建物側で給気口がとれているか確認してください。 足りない場合は給気がとれるようにしてください。	○		
	不安定な場所に設置していませんか？	架台や下地を強固に固定してください。		☆	
	近くに振動する機械がありませんか？	振動する機器を換気扇から遠ざけて設置してください。	○		
	取付用のボルト類は確実に締結されていますか？また、配線工事は適切にされていますか？	施工手順をご参照の上、締結部や配線箇所を今一度ご確認ください。	○	☆	
	周辺環境でインバーターを使用している電気機器はありませんか？	機器の周波数の調整や、各設定項目の確認・調整を行ってください。それでも改善されなければ、お近くの営業所までお問合せください。 ※インバーター使用由来の磁気音は、製品に異常があるものではございません。		☆	◆

○：　お客様にてご対応いただく必要がございます（点検）
☆：　専門業者での対応になります
◆：　最寄りの営業所にお問合せください

- お客様でのモータ点検の際は、**必ず電源を OFF** にして実施してください。
- また、配電盤などには、「点検中」などの表示で、作業の安全を確保してください。
- お客様で確認をしても異常が直らない場合は、最寄の当社営業所にお問合せください。

仕様確認・見積りなどのご相談はお近くの営業所にご連絡ください。

■北海道支店（札幌）TEL.011-879-3451
釧路営業所　TEL.0154-36-8334
旭川営業所　TEL.0166-47-6133
函館営業所　TEL.0138-48-0522
■東北支店（仙台）TEL.022-232-5311
盛岡営業所　TEL.019-638-4151
青森営業所　TEL.0176-21-2161
山形営業所　TEL.023-681-7511
郡山営業所　TEL.024-952-4233
■北関東支店（大宮）TEL.048-664-4651
高崎営業所　TEL.027-346-3971
宇都宮営業所　TEL.028-661-2571
つくば営業所　TEL.029-861-1590

■関東支店（東京）TEL.03-5637-5100
横浜営業所　TEL.046-275-3521
千葉営業所　TEL.043-286-6575
松本営業所　TEL.0263-86-7170
静岡営業所　TEL.054-246-5151
新潟営業所　TEL.025-240-0135
■名古屋支店（名古屋）TEL.052-202-3451
金沢営業所　TEL.076-268-1081
■大阪支店（大阪）TEL.06-6385-5241
高松営業所　TEL.087-815-0341
松山営業所　TEL.089-952-6966

■広島支店（広島）TEL.082-261-9321
岡山営業所　TEL.086-242-0223
徳山営業所　TEL.0834-26-1131
■九州支店（福岡）TEL.092-943-2003
鳥栖営業所　TEL.0942-83-1682
大分営業所　TEL.097-551-1120
長崎営業所　TEL.095-847-3501
熊本営業所　TEL.096-354-9120
鹿児島営業所　TEL.099-269-6331
沖縄営業所　TEL.098-850-5511

※営業所が繋がらない場合はこちらへお問合せください。営業統括部 TEL.03-5611-6310

製品不具合時の確認事項〈　　年　　月　　日〉

型式：　　納入時期：

設置状況詳細：

換気扇や電源接続部周囲の温度・湿度と電流値・電圧値：

塵埃（YES or NO）、振動（YES or NO）、腐食性ガス（YES or NO）…

（YESの場合は詳細をご記入ください　　）

運転前と停止した時の絶縁抵抗値：

コイル抵抗値（U-V間：　　Ω、U-W間：　　Ω、W-U間：　　Ω）

１日の稼働時間…

運転開始後何分くらいで停止するのか…

停止から再稼動までの時間…

不具合は再現するか（発生する頻度）…　⇒１日に数度　or　数日に１度　or　数週間に１度

製品改修歴…　⇒YES　or　NO

（YESの場合は詳細をご記入ください　　）

運転電流値は停止までに変化あるか…　⇒YES　or　NO

（YESの場合は詳細をご記入ください　　）

羽根を手で回して軽く回転するか…　⇒YES　or　NO（回転しない場合は NO）

単相運転となっていないか（結線部に異常ないか）…　⇒YES　or　NO（単相運転の場合は NO）

インバータを使用しているか…　⇒YES　or　NO

（YESの場合は詳細をご記入ください　　）

お客様名：　　現場住所：

※「故障かなと思ったら…（P9～10）」をご確認頂き、原因が不明な場合は上記内容をご確認のうえ、お近くの営業所にご連絡ください。
※現場状況により、上記内容以外の確認事項がある可能性があります。

快適空間の創造
三洋工業株式会社
URL: https://www.sanyo-industries.co.jp
本社:〒130-0012 東京都墨田区太平二丁目9番4号 TEL.03(5611)6310 FAX.03(5611)6311